

5月、今年度のPTA活動がスタートしました

■5月18日(土)PTA総会、5月23日(木)PTA全体会と第一回専門委員会が開かれました。

5月18日(土)PTA総会が、群馬県全体で進む学校活動の簡素化「R6提言」の流れを受けて、今年はいじめてオクレンジャーを使った完全電子化の書面決議で実施されました。結果としては、430名中の402名と93.5%から、全ての総会議案に承認をいただきました。ただし保護者が学校参加する貴重な機会である授業公開と学年・学級保護者会は例年通りに実施し、430名中の278名と64.7%の保護者の出席がありました。過去最多の出席率でした。

なお翌週5月23日(木)には、PTAの新本部役員と各学年委員さんの顔合わせと各専門委員会の初会合があり、活動のいっそうの効率化、簡素化に向けた具体的な話し合いと、それに基づく行動方針の確認が行われました。



5月には、創立20周年の関連行事・事業も行われました

■5月1日(水)同窓会から創立20周年の記念としてワゴン車1台が本校に寄贈されました。

これまで部活動の移動などに使われていた本校のマイクロバスについては、老朽化で利用困難な面がありましたが創立20周年の記念で、同窓会から新しいワゴン車が学校に寄贈されました。



■5月27日(月)創立20周年記念式典がおこなわれました

本校第一体育館で歴代校長や群馬県の関係者など大勢の方々が参列するなか、創立20周年記念式典が盛大に行われました。在校生も、自分たちが本校の伝統の一翼を担うのだと意思を新たにしていたようです。式後は、吹奏楽部の奏楽と、生徒による探究学習の成果発表、地元の藤岡高校OBで、ラジオパーソナリティーの内藤聡さんの記念講演が行われました。

●同窓会長(代理)あいさつ ●校長あいさつ ●内藤聡さん記念講演



■5月15日(水)開校記念行事「芸術鑑賞」が本校第一体育館で行われました。

本校第一体育館を会場に、三遊亭道楽、三遊亭王楽、三遊亭らっ好、翁家勝丸さんの落語と大道芸の鑑賞会が開かれました。それらを生徒や職員が体験する場面もあり、会場は終始たくさんの笑いに包まれていました。



藤岡 中央高が記念式典
藤岡中央高 大槻
恭子校長は7日藤
岡市の同校創立20
周年記念式典を開いた。生
徒会長の広瀬美和さん3
年(写真)が伝統を引き
継ぎ、新しいことにもチャ
レンジし、次の発展に



**20周年の節目に
新たな発展誓う**

大槻校長は式で同校の歴史を振り返るとともに、「ありがたい自分を思い描きながら、実現のために本校で全力を尽くしてほしい」と生徒へメッセージを送った。式典後、代表生徒による探究学習の成果発表や、市観光特使を務めるラジオパーソナリティー、内藤聡さんの講演などが行われた。同校は2005年に開校し、これまでに3400人を超える卒業生を輩出している。(探究千葉)

令和6年5月28日(火)上毛新聞

【藤岡中央高等学校のプロフィール】

- 毎年多くの生徒が、県内外の国立大学をはじめ**多くの四年制大学に合格**を果たしています。
- 本校では学校生活全般を通して、**3年間で「12の力」を磨くことを学校目標**にしています。
- 本校では3年間を通した、**学業と部活動の両立を目指しています**。昨年度はなぎなた部や弓道部が、全国大会や関東大会の出場権を得ました。
- 本校では現在、**様々な場面で情報化を進めています**。学校から生徒や保護者への連絡手段としてはスマホアプリ対応の「オクレンジャー」というクラウドサービスを使います。またパソコンを効果的に使い、HR・授業・各種特別活動にかかわる情報・連絡の送信、課題提出に活用しています。また授業の学習場面では、学習支援アプリ「ロイロノートスクール」の活用を進め、双方向の授業や協働的な学びが行える学習環境を整備しています。
- 本校は今年度から、他の県内4つの高校とともに、学校運営に地域住民らに参加できる「**コミュニティスクール(CS)**」の**モデル校**となりました。今後、本校では今まで以上に「地域に根ざした学校づくり」を目指すことになりました。
- 本校は今年度から、文部科学省により「**DXハイスクール**」の**指定**を受けました。DXハイスクールとは、高校でのデジタル技術や理数分野の教育の拠点となる高校です。